

「横浜うみ博」初開催で12,000人が来場！ ～「海洋都市横浜うみ協議会」が大きく船出～



7/22（金）・23（土）に、多彩な海の魅力を体感するイベント「海洋都市横浜うみ博 2016」を、開港の地横浜の象徴である大さん橋で、初開催しました。

このイベントは、産・官・学で海洋に関する活動を盛り上げるために設立した「海洋都市横浜うみ協議会」の初イベントであり、様々な企業や大学・研究機関などによる工夫を凝らした催しが展開され、約1万2千人もの方々に来場いただきました。

日本を代表する研究機関・大学・企業の代表者によるシンポジウムや、深海調査研究船「かいいい」などの船内見学会、タレントのさかなクンの講演会などイベントを盛り上げる企画も満載で、子どもから大人まで多くの方々に楽しみいただきました。

また、会場内の遊具コーナー（有料）の収益 65,500 円を、熊本地震の義援金として寄付しました。



本イベントは、

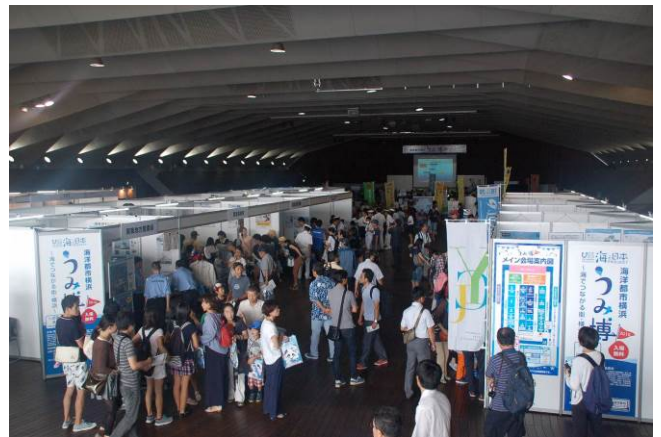
日本財団「海と日本プロジェクト」の一環で実施しています。



【海洋都市横浜うみ博 2016 会場の様子】



①オープニングセレモニー（22日）



②会場の様子（大さん橋ホール内）



③各ブースの様子（その1）
（横浜・八景島シーパラダイスブースに
ペンギンが登場）



④各ブースの様子（その2）
（IHIブースのシミュレーターで船の
操作を体験）



⑤客船「にっぽん丸」をみんなでのお見送り(22日)



⑥海洋研究開発機構 平理事長による講演(22日)



⑦海の女子会では海洋関連業務で活躍している女性が仕事や海の魅力を紹介



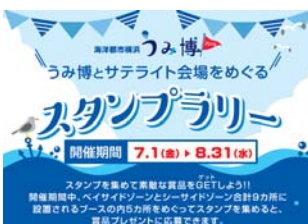
⑧深海調査研究船「かいらい」の一般公開



⑨さかなクンが横浜の海の魅力について講演 今日からできる「環境行動」を宣言!



- 「今日からできる環境行動」
- ① お風呂は冷ましてから流しましょう
 - ② 食べ物を感謝していただきましょう
 - ③ 物を大事に使いましょう (節約)



「うみ博」のサテライト会場[※]を巡るスタンプラリーは8月31日まで引き続き実施しています。

※日本郵船歴史博物館／日本郵船氷川丸／帆船日本丸／横浜みなと博物館／三菱みなとみらい技術館／横浜・八景島シーパラダイス／海洋研究開発機構 横浜研究所

写真を希望される場合は、以下の問合せ先にご連絡ください。

お問合せ先	
政策局政策課担当課長 高井 雄也	Tel 045-671-4172

「海洋都市横浜うみ博 2016」の概要

横浜は、開港以来、世界につながる「港」とともに発展し、海との繋がりの中で「海洋」に関する多くの企業・大学・研究機関・官公庁が立地しています。

こうしたポテンシャルを生かし、26 の企業・団体で、教育・研究・産業など様々な活動を展開していく「海洋都市横浜うみ協議会」を昨年設立し、「海洋といえば横浜」と言われる都市を目指しています。

この取組の一環として、日本財団の協力を得て、子どもから大人まで多彩な海の魅力を体感いただくイベント、「海洋都市横浜うみ博」を初開催しました。(特設 Web サイト <http://umihaku.jp>)

名称 : 海洋都市横浜うみ博 2016～海でつながる街・横浜～
 開催日時 : 平成 28 年 7 月 22 日(金)・23 日(土) 10 時～18 時
 会場 : 大さん橋ホール (大さん橋国際旅客ターミナル内)
 主催 : 海洋都市横浜うみ協議会【26 の企業・団体 (詳細は下段)】
 特別協力 : 日本財団 (本イベントは、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として実施します)
 協賛 : 神奈川トヨタ商事(株)／京急電鉄(株)／(株)商船三井・商船三井客船(株)
 ／横浜ベイサイドマリーナ(株)／おうち C O O P

イベント概要:

- ・日本を代表する海洋関連企業や大学、研究機関などによるパネル・模型の展示
- ・深海調査研究船「かいれい」などの船内見学会
- ・タレントの「さかなクン」や横浜・八景島シーパラダイスのペンギンのステージ
- ・水辺の生き物タッチプールやロープワーク教室、船のペーパークラフト作りなど、夏休みの自由研究に役立つ企画の実施
- ・海に関連する映像を見ながら、地元の海を味わう「食」ゾーンの設置

「海洋都市横浜うみ協議会」の概要

設立日 : 平成 27 年 9 月 28 日

名誉会長・会長 名誉会長 : 林 文子 横浜市長
 会長 : 渡辺 巧教 横浜市副市長

設立目的 : 協議会参加企業・団体の皆様と議論しながら、産官学連携により、次の取組を進めます。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ア 海洋に関する活動の総合的な情報発信 | イ 市民の海に関する理解・関心の向上 |
| ウ 海洋環境の保全 | エ 海洋産業の振興 |

協議会参加企業・団体 (順不同) : 【26 団体】

海洋研究開発機構 (JAMSTEC)、水産研究・教育機構、海上技術安全研究所 (海上・港湾・航空技術研究所)、港湾空港技術研究所 (海上・港湾・航空技術研究所)、(独)海技教育機構、
 (公財)帆船日本丸記念財団、横浜国立大学、東京海洋大学、横浜市立大学、
 (一財)エンジニアリング協会、(一社)海洋産業研究会、(一社)日本船用工業会、
 (一社)日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)、(一社)横浜港振興協会、(株)IHI、千代田化工建設
 (株)、東亜建設工業 (株)、日揮 (株)、横浜港埠頭 (株)、(株)横浜八景島、日本郵船 (株)、
 三菱重工業 (株)、内閣官房総合海洋政策本部事務局、関東地方整備局 (国土交通省)、
 関東運輸局 (国土交通省)、横浜市